

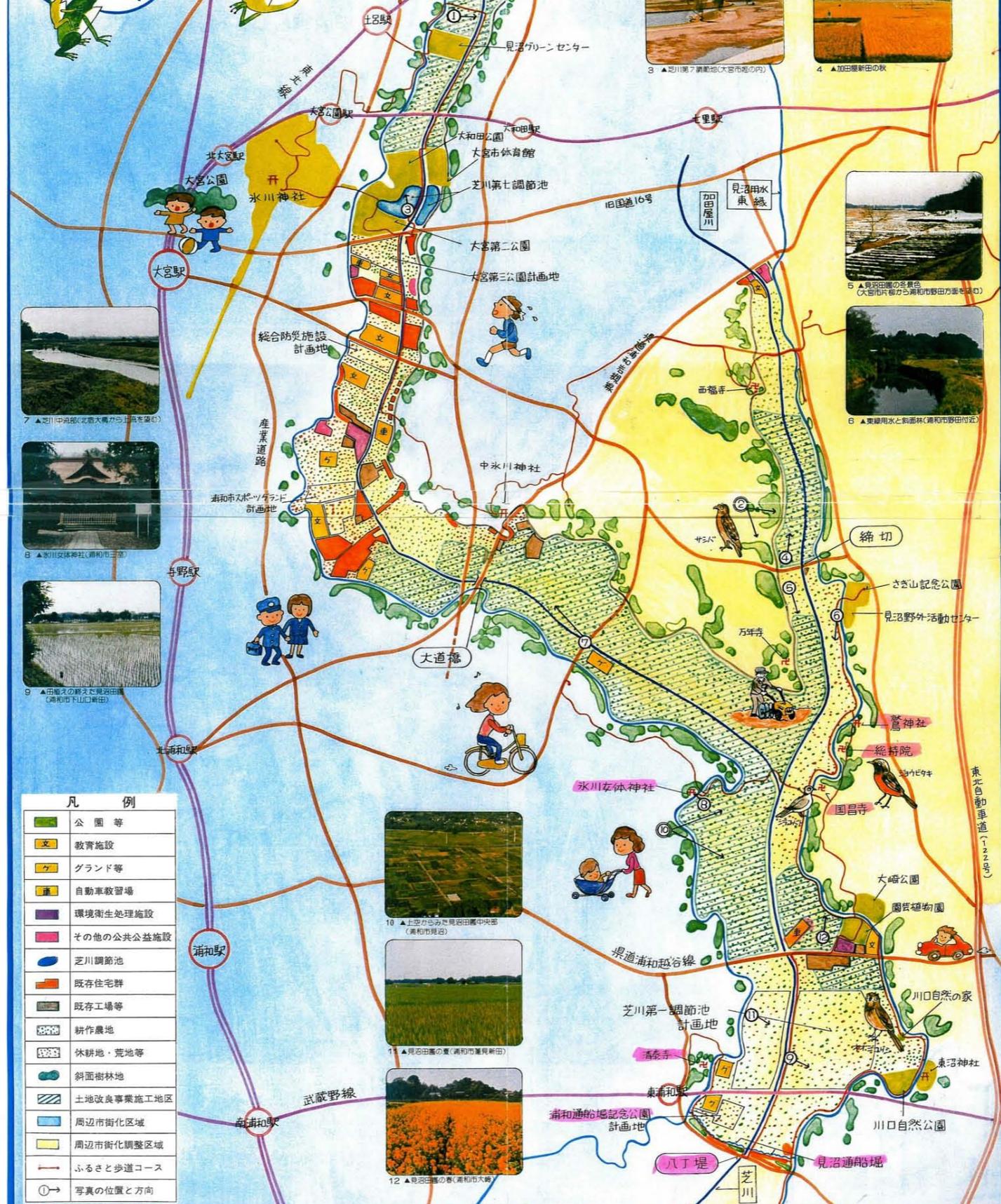
# — ふるさと再発見 —

## 見沼物語

平成23年8月22日(月)

浦和中央自動車教習所 秋本 昌治

# 見沼田圃マップ



凡例

	公園等
	教育施設
	グラウンド等
	自動車教習場
	環境衛生処理施設
	その他の公共公益施設
	芝川調節池
	既存住宅群
	既存工場等
	耕作農地
	休耕地・荒地等
	斜面樹林地
	土地改良事業施工地区
	周辺市街化区域
	周辺市街化調整区域
	ふるさと歩道コース
	写真の位置と方向



1 ▲芝川上流(大宮市美音園(ラッポ))



2 ▲上空からみた加田屋新田(浦和市見沼)



3 ▲芝川第7調節池(大宮市堀の内)



4 ▲加田屋新田の秋



5 ▲見沼田圃の冬景色(大宮市片柳から浦和市野田方面を望む)



6 ▲東線用水と駒森林(浦和市野田付近)



7 ▲芝川中流部(北宮大島から上流を望む)



8 ▲水川女体神社(浦和市三宮)



9 ▲田舎えの森(大宮市見沼(浦和市下山口新田))



10 ▲上空からみた見沼田圃中央部(浦和市見沼)



11 ▲見沼田圃の夏(浦和市見沼)



12 ▲見沼田圃の春(浦和市大崎)

# 創ろう緑の大回廊

—花と歴史の緑園都市—

緑区は東に東北自動車道、西にJR京浜東北線、南にJR武蔵野線に囲まれた  
海拔約五メートルの低地が見沼田んぼであり、それより一周四十キロは海拔十  
十五メートルの関東ローム層の大宮台地と安行台地に囲まれた緑の環境の豊かな  
所です。かつて浦和は「北の鎌倉」と呼ばれましたが、それにふさわしいのが  
緑区です。

見沼田んぼは八代将軍吉宗公が幕府の財政建て直しのため新田開発を押し進  
め、紀州の土木技師井沢弥惣兵衛為永に命じ、利根川から水を引く見沼代用水  
を享保十三年（一七二八年）に完成し、穀倉地帯となり通船堀を通じ江戸に米  
を送りました。

氷川女体神社は武蔵一の宮の大宮の「氷川神社」よりも古いと言われており、  
見沼の守護神として女性の神を祭り船遊びをした「警船祭祀遺跡」があります。  
又、日光へ通じる御成街道には将軍が鳥見をした「野田のさぎ山」があります。

現在は東北自動車道で陸奥への玄関口でありSR（埼玉高速鉄道）により  
都心まで約三十分で結ばれており、有名な埼玉スタジアム2002はサッカー  
ファンのメッカになっております。

## 緑区・HISTORY

作詞 秋本昌治

- 一、見沼に広がる丘陵に  
見性院の 清泰寺  
会津の殿様育て親
- 二、古い歴史の女体様  
杜の大木 くすの木は  
永遠の命を伝えます
- 三、左甚五郎の彫刻は  
菊の御紋の 国昌寺  
ぼたんの里山 総持院
- 四、知恵のさずける文殊様  
禅の名刹 吉祥寺  
仏に抱かれる慈悲の寺
- 五、通船堀の橋げたに  
桜の吹雪 川面うつす  
問わばや遠き世々の跡
- 六、御成街道のしらさぎは  
野田さぎ山 名将が  
かえせし人を偲びつつ
- 七、八代将軍吉宗と  
井沢弥惣兵衛為永は  
江戸の穀倉見沼拓く

（曲は元文部省唱歌「鎌倉」のメロディです）

# (一) 見性院の清泰寺



保科正之(1611～1672)の墓所は会津猪苗代町の『土津神社』にあり、2代 保科正経から9代 松平容保までの墓所は会津若松市東山町の松平家の院内御廟にある。正之は徳川家の初代の会津藩主となり、寛文12年(1672)62歳で没す。京都守護職であった容保は戊辰戦争に敗れ明治26年(1893)59歳で没した。



# 土津神社



## (二) 古い歴史の氷川女体神社



### (三) 菊の御紋の国昌寺



### (四) 牡丹の里山 総持院



## (五) 禅の名刹 吉祥寺



## (六) 三室文殊寺



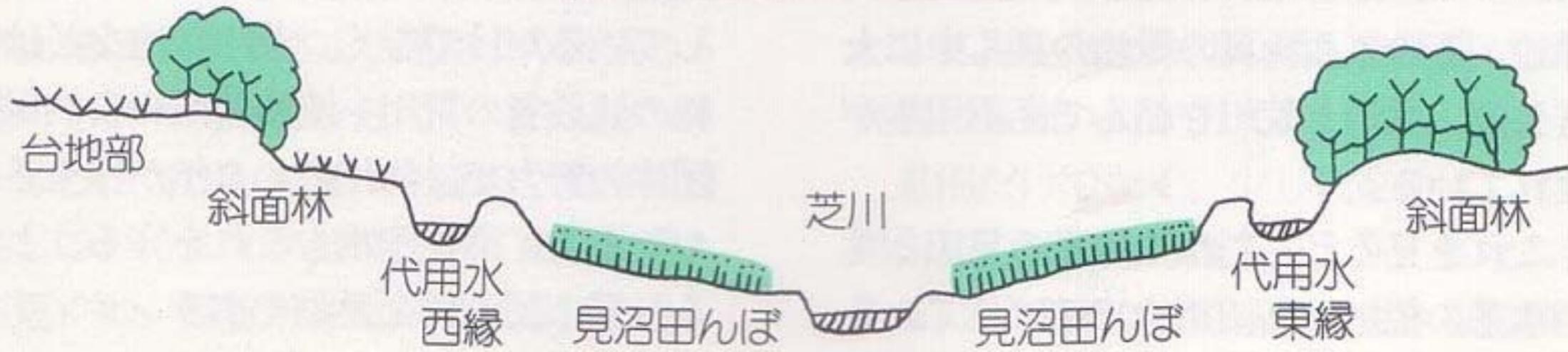
# 大門本陣、副本陣



## (七)見沼通船堀

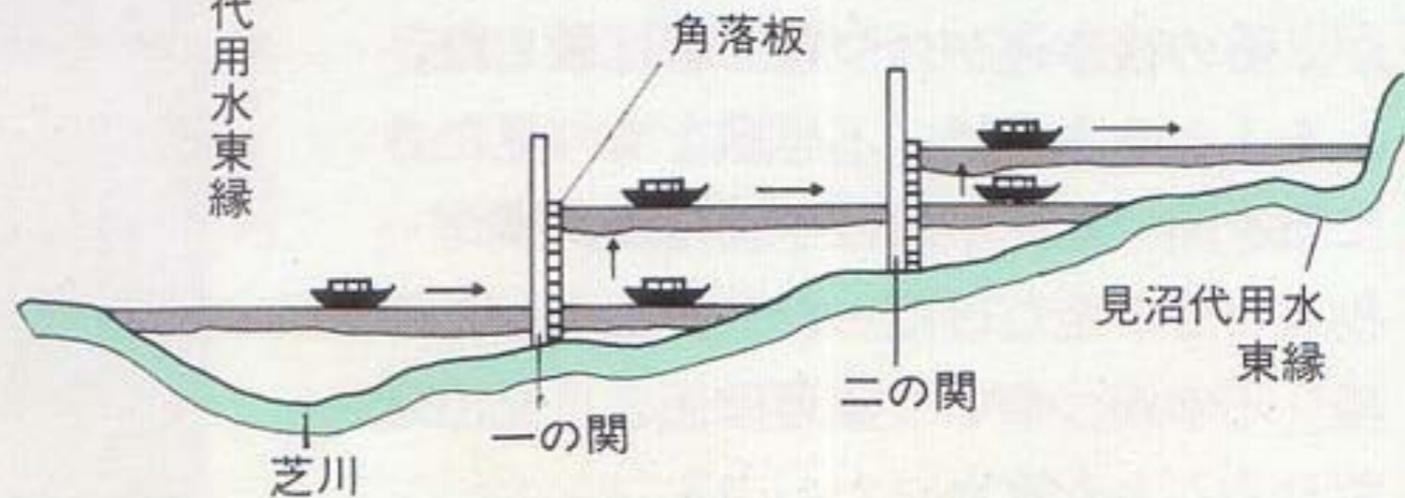


## 見沼田んぼ断面図



## 通船のしくみ

通船堀をのぼるときは、綱で船をひき、一の関を通過したら閘門の角落板をつぎ足して水位を高め二の関内に引き入れる。くだるときは、角落板を一枚ずつはずして水位を下げる。



# (八) 野田のさぎ山記念公園と見沼用水



ダイサギ



アオサギ

# 南部領辻 さぎ神社





# 会津若松 鶴ヶ城



# 浦和中央自動車教習所

